

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神戸市西区総合庁舎建設工事	階数	地上6F
建設地	神戸市西区糀台5丁目4番1の一部	構造	SRC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	1,106 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物品用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年4月1日
敷地面積	5,094 m ²	作成者	昭和設計里吉健
建築面積	2,654 m ²	確認日	
延床面積	10,040 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100). BEE = 1.7.

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み: 81% (37.22 kg-CO₂/年・m²)
 ③上記+②以外の: 81% (37.22 kg-CO₂/年・m²)
 ④上記+: 81% (37.22 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (3.2), Q2 サービス性能 (3.9), Q3 室外環境 (敷地内) (3.2), LR1 エネルギー (3.9), LR2 資源・マテリアル (3.6), LR3 敷地外環境 (3.1).

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.2)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.9)

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 3.2)

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.9)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.6)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

3 CASBEE神戸 の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 5.0 Q-2/2.4 信頼性 3.6	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 5.0
配慮の概要 建築物移動等円滑化基準を満たしている。	配慮の概要 プレストレスプレキャスト鉄筋コンクリート造一部鉄骨造とし、免震装置を設けることで地震の揺れを抑制する計画とする。 ※寒時に空調設備の運転制御の設定が可能であり、給排水術	配慮の概要 隣地の建物高さや大きな差がない計画とするとともに、植栽及び県内の木を利用した外装木材を設け良好な景観を計画している。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される